

米価の抑制及び米の安定供給と米農家の支援を求める要望意見書

昨年来、スーパー等での米の販売価格は昨年の２倍以上に達するなど、現下の精米販売価格は異常な値動きを見せており、家計を圧迫しています。

また、米価の高騰の長期化は、医療機関や高齢者施設、福祉施設の経営も圧迫しており、社会に与える影響は深刻さを増しています。

この米の価格上昇の主な要因は、２０２３年の猛暑により、米の収穫量が減少し、供給量が減少したことや、コロナ禍で一時的に低迷していた外食需要が回復し、それに加えて訪日外国人観光客の増加により、米の需要が急増したこと、さらには、米の供給量が減少し、需要が増加したことで、集荷業者間の買い付け競争が激化したことなど複合的な要素が影響したとされています。

そのような状況の中、政府は、本年２月、米価高騰の抑制や流通の目詰まりを解消するため備蓄米の活用を決定しました。

よって、国及び関係機関におかれては、生産者、消費者双方にとって納得のできる米価の抑制に努めるとともに、米の安定供給のため、ゆとりある需給計画により国内生産と備蓄を拡大することとあわせて、米農家が安心して増産に励める対策を講じることを強く要望いたします。

以上、地方自治法第９９条の規定により、意見書を提出する。

苫 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、農林水産大臣、衆議院議長、参議院議長